

主要な環境パフォーマンスデータの推移

環境パフォーマンスデータについて

本データの集計対象組織は、GSユアサグループの国内4事業所(京都事業所、長田野事業所、小田原事業所、群馬事業所)です。本データの集計対象期間は、2005年度から2009年度までの5年間です。

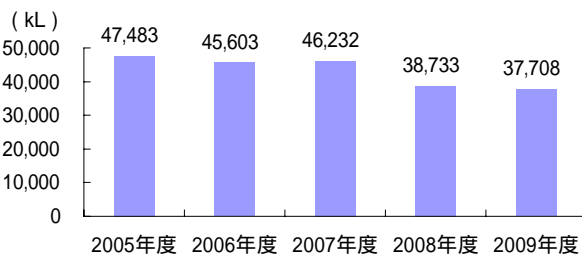
CO₂排出量の算出における電気のCO₂換算係数は、電気事業連合会が公表しているCO₂排出原単位(下表)を使用しています。しかしながら、2009年度のCO₂排出原単位は本報告書作成時点では公表されていないため、2008年度の数値を採用しています。また、電気のCO₂換算係数を見直したことにより、2008年度のCO₂排出量の数値を修正しています。

電気のCO₂換算係数表 (kg-CO₂/kWh、電気事業連合会のCO₂排出原単位[小数点第3位四捨五入])

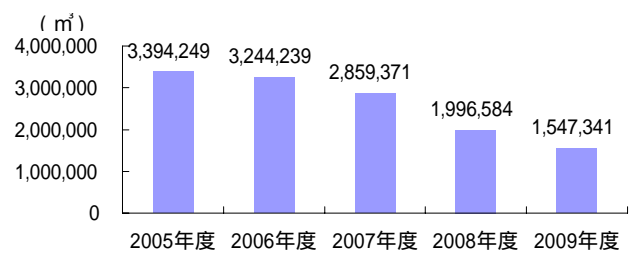
1990年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
0.42	0.42	0.41	0.45	0.44

INPUT

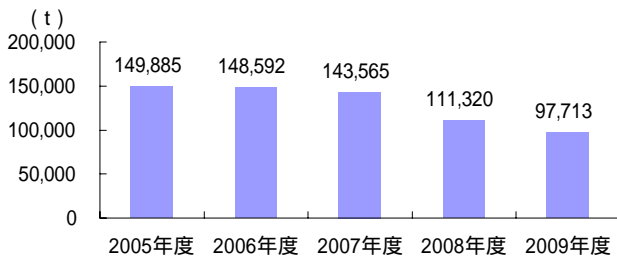
エネルギー使用量



水使用量

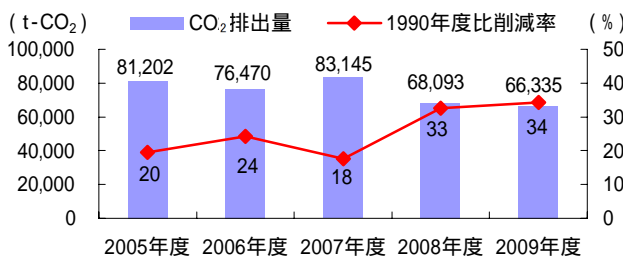


化学物質使用量



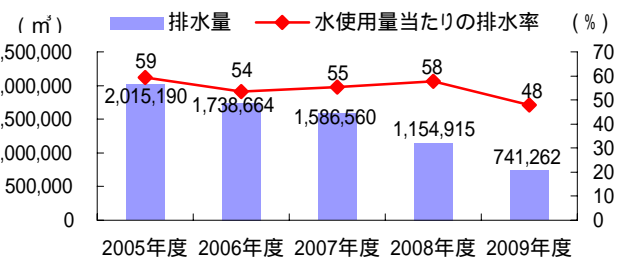
OUTPUT

CO₂排出量と1990年度比削減率



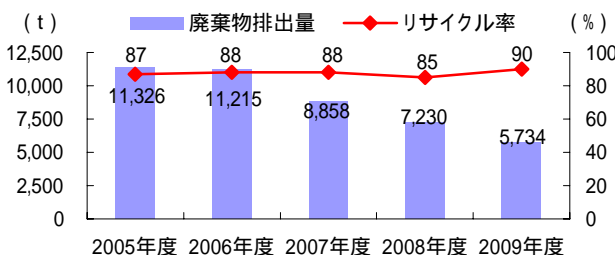
$$\text{1990年度比削減率} = \left\{ \left(\frac{\text{1990年度CO}_2\text{排出量} - \text{CO}_2\text{排出量}}{\text{1990年度CO}_2\text{排出量}} \right) \times 100 \right\}$$

排水量と水使用量当たりの排水率



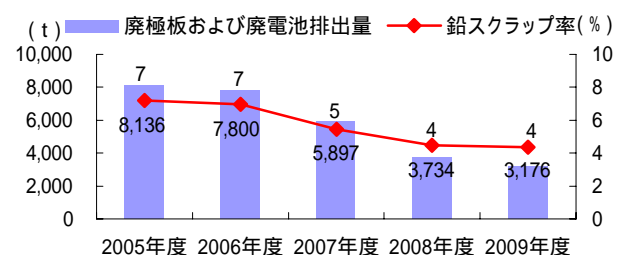
$$\text{水使用量当たりの排水率} = \left(\frac{\text{排水量}}{\text{水使用量}} \right) \times 100$$

廃棄物排出量とリサイクル率



$$\text{リサイクル率} = \left(\frac{\text{リサイクル量}}{\text{廃棄物排出量}} \right) \times 100$$

廃極板および廃電池排出量と鉛スクラップ率



$$\text{鉛スクラップ率} = \left(\frac{\text{廃極板および廃電池排出量}}{\text{鉛使用量}} \right) \times 100$$